

平成 1 0 年度試験研究成果

区分	普及	題名	品種 ホウレンソウ「ミストラル」		
<p>[要約]</p> <p>秋まきの剣葉系ホウレンソウ「ミストラル」は、株張りが良好で葉色も濃く、立性で品質的に優れていた。</p>					
キ - ワ - ド	ホウレンソウ	品種	ミストラル	県北農業研究所 産地育成研究室	

1. 背景とねらい

本県ホウレンソウは剣葉系品種の雨よけ栽培により高い市場評価を得ており、出荷期間も4月から12月までと拡大している。それにより播種期に応じた品質のよい、しかも耐病性を有する品種が必要になっている。現在秋播きの作型には「アトランタ」が推奨品種として導入されているが、この品種は日照不足の際の品質が劣る傾向にある。今回秋播の剣葉系品種「ミストラル」は、株張りも良好で葉色も濃く、品質的に優れていたため、品種の特性を紹介する。

2. 技術の内容

(1) 来歴

- ア 「西洋系」×「東洋系」のF1品種。平成7年より「SC3-60」として試作。
- イ 平成9年に「ミストラル」として発表、一般に市販される。

(2) 特性概要(表1)

- ア 葉身長が長く、葉幅もやや広い、剣葉系品種。株張りは良好。
- イ 生育はアトランタ並で、葉色はアトランタより濃い。
- ウ 草姿は立性。
- エ ベと病レ-ス1, 3, 4に対して抵抗性を有する。

(3) 品種育成元

株式会社サカタのタネ

3. 普及上の留意事項

- (1) 栽培はアトランタに準ずる。
- (2) 高温長日条件下では抽台しやすいので、8月中旬より前には播種しない。(表2)
- (3) 低温伸長性がやや劣る傾向があるため、9月下旬以降の播種は行わない。(表1)

4. 技術の適応地帯

- (1) 適応地域 県下全域
- (2) 適応作型 8月中旬～9月中旬
- (3) 普及見込み面積 80ha

5. 当該事項にかかる試験研究課題

野菜2-1-(3)-A地域適応性に優れた品種の選定(エ)ホウレンソウ

6. 参考文献・資料

- 岩手県園芸試験場高冷地開発センタ - 平成8年度試験成績概要
- 岩手県農業研究センタ - 県北農業研究所平成9年度試験成績概要

7. 試験成績

表1 播種作型における収穫時の生育収量

播種日	品種名	草丈 (cm)	調整重 (g)	葉身長 (cm)	葉幅 (cm)	草姿	葉色	収量 (kg/a)	生育日 (日)	べと病 株率(%)	
1996. 8.19	ミストラル アトランタ	25.0	14.5	13.2	8.2	5	35.3	151	27	0	
		25.2	14.0	13.3	7.2	5	32.6	146	27	0	
	9.13	ミストラル アトランタ	25.1	18.0	13.1	8.9	5	43.8	187	42	0
			25.0	15.9	12.4	7.2	5	36.6	166	42	0
	9.25	ミストラル アトランタ	25.0	17.4	12.0	7.8	5	45.0	181	53	0
			25.0	14.2	11.5	6.5	5	38.0	147	45	0
1997. 8.18	ミストラル アトランタ	25.3	12.2	12.7	6.1	5	37.4	127	28	0	
		25.1	14.0	12.8	6.0	5	33.0	145	28	0	
	9.16	ミストラル アトランタ	24.2	20.3	13.4	8.0	5	45.4	211	42	0
			24.5	25.1	14.0	7.7	5	46.5	260	44	0
	9.25	ミストラル アトランタ	24.9	22.0	13.5	9.2	5	49.7	229	53	0
			24.8	20.8	12.2	7.3	5	43.5	237	48	0
1998. 8.19	ミストラル アトランタ	27.9	19.0	14.0	9.0	5	33.7	198	28	0	
		26.6	16.9	14.0	8.0	5	30.0	176	28	0	
	9.24	ミストラル アトランタ	25.1	14.8	13.3	7.5	5	36.9	154	37	0
			25.3	14.5	12.8	7.0	5	36.1	151	39	0

葉色：葉緑素計SPAD502示度

草姿：観察による 5（立性）～1（開帳性）

調整重：子葉と本葉1，2枚を除去後の収量

収量：調整重にア-ルあたりの栽植本数（10416本/a）を乗じた値。

（摘要）この播種期において抽台株はなかった。

表2 7月播き作型におけるミストラルの抽台発生状況

播種日	抽台株の発生程度			発生程度 ²⁾
	別割合(%) ¹⁾			
	小	中	大	
1996. 7.17	10	45	0	33.3
1997. 7.15	10	25	10	33.4
1998. 7.15	20	50	10	50.0

¹⁾ 小（指数1）：花径長2 cm以下の株割合（A品出荷可能）、中（指数2）：花径長2～3 cmの株の割合（B品出荷可能）、大（指数3）：花径長が4 cmをこえる株の割合（出荷不能）

²⁾ 発生程度：（（発生程度別株数×指数）/調査株数×3）×100